

2015.10.14 (水) -15 (木) 曇りのち晴れ	笹ヶ岳 1,635m	(1207) T/Y メンバー 2名:男
行程 1日目:新潟 13:00 発=17:30 道の駅にしめ前泊 (一泊朝飯付 2,500 円) 2日目:大平登山口 6:30・9:07 御浜小屋 10:15・鳥海湖分岐 10:44・ ・11:30 笹ヶ岳・河原宿 12:22・14:16 大平登山口		

「三段染の鳥海山」

絶景三段染の景色の中を歩きました。好天の天気予報、紅葉の時期、期待しての鳥海登山は予想外でした。

1日目、秋田由利本荘市の道の駅“にしめ湯っ娘”に前泊、隣にイオン大型スーパーで秋田料理を仕入れ道の駅にチェックイン、温泉サウナ、休憩室、仮眠室男女別（ベッドあり）設備の整った駅です。

2日目、大平登山口の上は濃いガスに覆われていました。早朝のガスは晴れるはずが 1,500mの河原宿に着いてもガスで視界 10m位、登山道は氷っていました。雨具をまとい愛宕坂の急坂を登る。

御浜小屋付近は霧氷に覆われ真冬の寒さ、小屋に飛び込みコンロで湯を沸かしカップラーメンで暖をとる？

時々外をうかがうが、相変わらずガスは取れない、先客（男1名と若い夫婦）デカイカメラを持ってしきりに小屋を出入りしている。写真を撮りにきたようです。

小1時間ほど小屋に待機して外に出ると、雲の切れ間から白い山頂が見え隠れしていました。

小屋の周りの草原はベージュ色に染まった上に真っ白な霧氷が付着、枯草に白い華が咲き乱れておりました。雪の山頂登山は断念をし、鳥海山の見晴台山である笹ヶ岳に急きょ変更しました、濃いガスもようやく消え、新山や鳥海湖が姿を見せ、刻々周りの景色の色が鮮やかに変貌するのを肌を感じ取れました。

鳥海湖を眼下に見ながら御浜まで下りました。天候も快晴無風の好条件に変わり、新雪に輝く山頂新山と黄金色の草原に鳥海湖を従いた景色場を歩くのは夢心地でした。

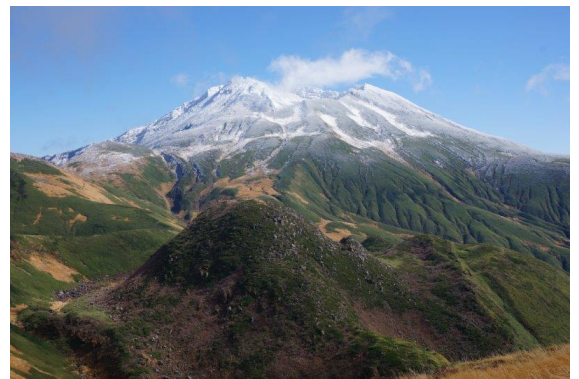
真っ青な空に時折、綿あめを千切ったような雲が鳥海山山頂をなめるように通過、景色に華を添えてくれました。

笹ヶ岳の登山道、岩峰、三峰、二峰と稜線歩きで鳥海山の見晴道に偽りなし、山頂から庄内平野、日本海、月山、朝日連峰、など鳥海山山頂に匹敵する眺望に満足いたしました。

下山は三峰から地図に無い道、ほぼ直線で河原宿にでた、途中は台地に池塘が点在した名所？発見しました。

見晴台から吹浦口登山道の燃えるような錦のトンネルをくぐり大平登山口に帰還しました。

国民宿舎大平山荘で風呂（420 円）につかり、鳥海山登山を回想、三段染の登山コースの酔えんをしたりながら新潟に戻りました。



三段染の鳥海山



鳥海山を背景に



御浜小屋前に到着



小屋脇からの霧水



霧氷花



鳥海湖



御浜からの鳥海山は雲の中



これから向かう笹ヶ岳



御浜分岐からの鳥海山



鳥海山を背にして



三段染の鳥海山



初冠雪？の新山



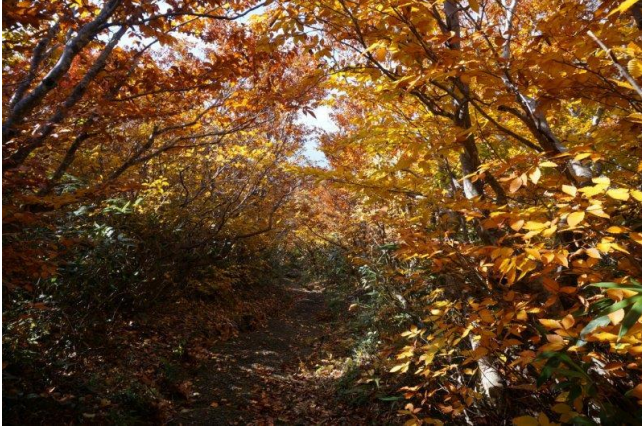
長坂道の池塘と草原



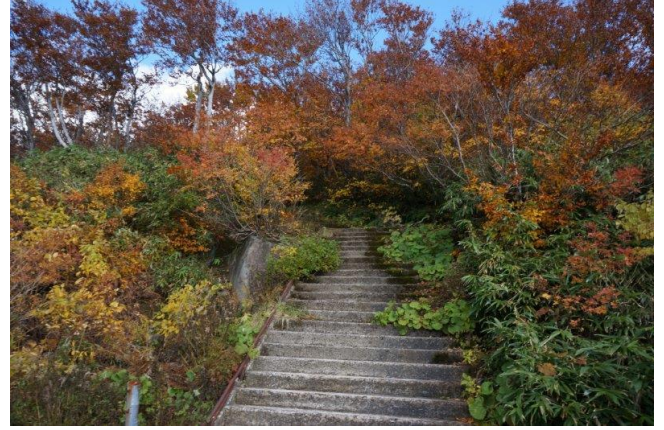
笙ヶ岳からの鳥海山



吹浦登山道（見晴台）からの大平小屋



燃えるような錦のトンネル



大平登山口に到着